

締切迫るうううう！ てだこウオーク2014 2月1日(土)・2月2日(日)



携帯フォトコンテスト



(土のみ)



(土のみ)

★2月2日(日)の5kmコース名称変更のお知らせ

変更前 港川外人住宅カフェを巡る・にぎわいコース
→変更後 サンパーク・学園通りを巡る・にぎわいコース

※当日は大変込み合います。事前の申込みがお勧めです。

日曜日には
吉本芸人の
ピースが
やってくる♪



第六回 沖縄国際映画祭

★申込先

- ・浦添市役所7階 社会体育課、浦添市民体育館1階、まじゅんらんど
- ・インターネット (しまスポ、スポーツエントリー、JTBスポーツステーション)

問い合わせ 社会体育課内 ☎876-1234 (内線 6163)



2013うらそえYA文芸賞受賞者



中村 航氏

YAとはヤングアダルトの略で、13歳から22歳までの世代をいいます。「うらそえYA文芸賞」はYA世代を対象に文学作品を募集するものです。募集作品は、短編小説と詩で、今年度は短編小説部門に6作品、詩部門に4作品の応募がありました。応募作品は、芥川賞受賞作家の又吉栄喜氏を含む審査会で審査され、中から6作品が「うらそえYA文芸賞」に決定し、11月23日、浦添市でたこホールで表彰式が行われました。短編小説部門煌賞を受賞した内領有梨沙さんは、「このような賞をいただき本当に嬉しく思います」と受賞の喜びを語りました。表彰式後は、「1000回以上」で人気の作家中村航氏の読書講演会が開催されました。中村氏は、「有名になった本だけを読むのではなく、広くいろんな本を読んだ方が力になる」と自身の経験談や著書の紹介をし、新しい作品の朗読など楽しい講演でした。

YA世代の若き才能 文学6作品が受賞！

受賞作品紹介

短編小説部門

煌賞 (市長賞) 相当 (一夏の約束)

内領 有梨沙 (那覇西高2年) 輝賞 (教育長賞) 相当 (帰ってきたミニ子)

友利 恵理子 (琉球大学3年) 審査員特別賞

成海 愛夢 (沖縄国際大学3年) 図書館長賞

「ポチャドル」 棚原 穂乃香 (陽明高1年)

詩部門 審査員特別賞

「歌うたいの心境」

糸数 玲香 (西原高2年)

図書館長賞

「自分だけじゃない」

玉那覇 翼 (中部商高3年)

今回の受賞作品は「2013うらそえYA文芸賞作品集」として発行しており、図書館で貸出・閲覧できます。市ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。

問い合わせ

浦添市立図書館

☎876-14946



2013受賞作品

スペイン語遊びの様子



締太鼓披露



又吉パトリシアさんと比嘉ジェシカさん

初めて聞くスペイン語に興味しんしんの子ども達

6月に来沖し、研修をスタートさせた比嘉ジェシカさん(ペルー)と又吉パトリシアさん(アルゼンチン)が、約6か月間の研修を終え12月に帰国しました。2人は日本語や沖縄文化を学ぶだけでなく、様々なイベントに参加し市民と交流しました。2人の研修や沖縄滞在の様子を紹介します。

★てだこまつりでエイサーを披露★

てだこまつりでは、JICA研修員の皆さんと初めてのエイサーを踊りました。

★JICAフェスティバルでスペイン語遊び★

11月9日と10日には国際協力・交流フェスティバルで、カルタ遊びを通して子ども達にスペイン語を教えたり、ペルーの民族楽器の作り方を教えたりしました。子ども達と一緒に冗談を交えながら楽しく交流できました。

★児童センターで移民について紹介★

11月20日は、うらそえくすく児童センターでペルーやアルゼンチンの浦添市人会のこや受け継がれている沖縄文化など移民についてスライドを使って紹介しました。



平成25年度南米移住者子弟研修生受入事業
沖縄で学んだこと、
私たちの国に伝えます



12月4日、研修の修了式と送別会が行われ、市長から修了証書が授与されました。送別会では三線・琉球舞踊の披露や書道・生け花の作品を展示しました。お世話になった親戚や講師の方、企業訪問受入先、友人らが見守るなか堂々と研修の成果を発表しました。市長からは「これから、2人が浦添市とそれぞれの母国との架け橋となり、絆を広げていくことを期待しています」と、激励の言葉が贈られました。



この研修は、人生を変えるほどの貴重な経験でした。日本や沖縄について学び、私のものの見方を変えるきっかけとなりました。沖縄には美しいものがたくさんあります。紅型や海、そして沖縄の人の心です。私は沖縄が大好きです。皆さん、どうもありがとうございました。



私の好きな言葉は「めんそーれ」です。どこでも優しく受け入れてくれて、家族みたいです。この研修で日本語が上手になってきて、琉舞や三線、書道や生け花を学ぶことができて本当に嬉しいです。この6か月間を決して忘れません。そして、またいつか沖縄に戻ってきたいです。

三線と琉球舞踊を披露



問い合わせ 国際交流課 ☎876-1234 (内線 2611)